

つくばみらいに^{みらい}将来を提言

市中学生議会を開催

次代を担う中学生に、模擬議会の体験を通じて市の仕組みや市議会の役割を学習してもらおうと7月27日、市議会議事堂において中学生議会が開かれました。議員になったのは、市内4中学校を代表する12人。中学生議員たちは、日ごろから疑問に感じていることや市にこんなものがあつたらいいと思っていることなど、さまざまな視点から提言・質問を行いました。

つくばみらい市の税金の行方について



おおく 裕希
大久保 裕希

(谷和原中 3年)

【質問】
以前議会を傍聴したとき、疑問に思ったことがあります。それは、自校給食の件や道路整備、公園の設置などを実現するため

の費用はどこから捻出しているのかということ。そのお金は、僕たちがお店などで払っている税金なのではないか。僕が聞いたことのある税は、消費税や所得税、住民税などです。でもそれらがどのような税なのか、どういふときに支払われているのかなど、分かりません。どの税がどのような使い方をされているのかに興味を持ちました。そして、それらの

税金は、つくばみらい市にどのくらいあり、どのような配分で何に使われているか分かりません。道路整備をするのに整備代を徴収されたことはありません。市の施設を税金で建てるとしたら、どれくらいの税金を集める必要があるのでしょうか。市民にとって住みやすく安らげる場所になるためには、福祉や公共施設の充実、道路や街灯の整備、学校教育の充実などた

堂々と議事を進行した両議長



いしじま さき
石島 さ季

議長 (前半の部)

(谷和原中 3年)



おおやま ふみたか
大山 文隆

議長 (後半の部)

(伊奈中 3年)